

グリーン四国

No.1167
2017年
6月号

石鎚風景林



滑床自然休養林



工石山自然休養林



千本山風景林



剣山自然休養林

特集

「日本美しいの森
お薦め国有林」

目次

- ・「日本美しいの森 お薦め国有林」 2
- ・各地のたより 4
- ・転任者からの便り 7
- ・四国の森林からこんにちは 8



四国山の日

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30
TEL 088-821-2052
FAX 088-821-4834
HP <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>
E-mail shikoku_soumu@maff.go.jp

特集

「日本美しいの森 お薦め国有林」〈保全課〉

1 「日本美しいの森 お薦め国有林」の概要

平成29年4月28日、林野庁は、平成28年3月に「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」（議長：内閣総理大臣）が策定した同ビジョンを踏まえ、観光資源としての潜在的魅力が認識されるレクリエーションの森※を「日本美しいの森 お薦め国有林」として全国で93箇所を選定し、四国森林管理局管内では、5箇所が選定されました。

選定された「日本美しいの森 お薦め国有林」においては、地元自治体等と連携し、標識類の設置やウェブサイト等による重点的な情報発信、景観に配慮した森林の整備や、施設整備等の環境整備を行い、多くの方々に日本の美しい森林景観を味わっていただけるよう

四国森林管理局管内で選定された5箇所

名称	署等	所在地	名称	署等	所在地
剣山自然休養林	徳島	三好市、つるぎ町、那賀町、美馬市	工石山自然休養林	嶺北	高知市、土佐町
滑床自然休養林	愛媛	宇和島市、鬼北町、松野町	千本山風景林	安芸	馬路村
石鎚風景林	愛媛	西条市			



剣山自然休養林（剣山の紅葉）

取り組んでいきます。

※レクリエーションの森とは、広く森林に親しんでいただくために、全国の国有林の中で、山岳、湖沼などと一体となった美しい森林や野外スポーツに適した森林を「レクリエーションの森」に選定し、森林レクリエーションの場として提供しています。



石鎚風景林（土小屋ルートからの遠望）



工石山自然休養林（シャクナゲ）



滑床自然休養林（雪輪の滝）

2 「日本美しいの森 お薦め国有林」の紹介

今月号から数回に分けて、「日本美しいの森 お薦め国有林」を本誌でご紹介いたします。

【千本山風景林について】

〈安芸森林管理署管内〉

1 概要

所在地 高知県馬路村

面積 190・93ヘクタール

(約2km²)

レクリエーションの森 指定

年月日 昭和39年10月20日

2 みどころ

千本山風景林は、土佐湾東部に注ぐ奈半利川上流部の魚梁瀬ダムの湛水上流部に在りし深谷と魚梁瀬スギの美林に囲まれた地域に所在しています。標高は深谷部の440mから千本山山頂の1,084mまで標高差600mに及んでいます。

千本山への到達路は、県道魚

梁瀬公園線の終点付近を起点として中川、西川の両林道が風景林を縦断しています。本地区を象徴する魚梁瀬スギの利用は古文書の記録から想定しても600〜700年前の吉野朝の頃以前から始まったとみられており、戦国時代以降領主らの手厚い保護を受け、明治時代以降は国有林となり現在に至っています。また、魚梁瀬天然スギは、屋久スギや秋田スギとともに我が国を代表する天然スギとして知られています。



魚梁瀬スギの巨木

千本山登山口の千年橋では、川のせせらぎが心地よく、春は新緑にあふれ、秋は紅葉に つつまれます。歩道沿いは、

ヤハズアジサイやオンツツジ、タブノキ、ミズメ、サカキなど様々な樹種を観察することができます。展望台からは魚梁瀬貯水池や野根山街道を望むことができます。この風景林に隣接して千本山保護林が設定されており、23・90ヘクタールの区域の中に樹齢約200年以上、胸の高さの直径が80cm、樹高が40mに達する巨杉が林立する壮観な景色が視界に広がります。



千本山登山口の千年橋

なお、千本山風景林が所在する中芸地域は、かつて西日本最大の森林鉄道が敷設されていた地域であり、平成29年4月28日、中芸地域5町村が申請した「森林鉄道から日本一のゆずりロード

へ」が日本遺産※₂に認定されました。魚梁瀬丸山公園内では、昭和期に中芸地域を駆け巡っていた森林鉄道の乗車体験ができます。



森林鉄道

※₂日本遺産とは・・・地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として文化庁が認定するものです。

各地のたより



各地のたより 目次

『三嶺の自然を守る会』に
林野庁長官感謝状を贈呈

一括発注現地検討会を開催

「滑床山開き」で森林・木工
教室を開催

飯野山国有林で「里山まつり」開催 一日一石運動も
開始

『三嶺の自然を守る会』に 林野庁長官感謝状を贈呈

国民の森林や環境への理解を深めるための教育活動に貢献したとして、長官感謝状が授与されました。

その伝達式を5月26日に徳島森林管理署会議室において行い、三嶺の自然を守る会理事長の暮石 洋（くろいし ひろし）さんと辻 謙治（つ



感謝状の贈呈

じけんじ）さんにご出席いただき、署長より謝状が贈呈されました。

三嶺の自然を守る会は、平成12年10月30日に設立され、三嶺地域の巡視を中心に環境保全・再生活動、特に希少植物保護活動では、盗掘防止の対策として看板の設置、盗掘された植物の調査、植生回復などに取り組んでおり、現在会員30名ほどで、年間20回程度活動しています。



伝達式にて

また、シカ食害防止対策活動、登

山道修繕活動においては、徳島署とも連携・協働して取り組み、これまでに樹木ガードを累計約三千本を設置しています。

贈呈後、暮石理事長は、「ネットガードの取付作業は登山道から離れた場所でも地道に行う作業で、人に見られることもないが、こうして表彰していただけ。見てくれている方がいることを本当にうれしく思います。これからも、コツコツと活動を続けていきます。」と感慨深げに伝えていました。

〈徳島森林管理署〉

一括発注

現地検討会を開催

4月26日、大段徳ヶ谷山国有林において、架線方式による生産・造林事業の一括発注現地検討会を開催しました。



検討会（概況説明等）の様子

当日は、大雨という生憎の天候ではありましたが、高知県や林業事業体、四国森林管理局職員等90名が参加しました。

開会式では、安芸署長から「四国局内では、嶺北署に続き2回目の一括発注の現地であり、①嶺北署の路網型一括発注事業と当署の架線型一括発注事業の違い、②2つの事業体間の連携や効率的な作業がうまく進められたか、③地拵作業の省略により、林内に枝条が多く残るといった課題への対応、④コンテナ大苗植栽試験地における無地拵、無下刈造林の可能性等に注目しながら意見交換をしていただきたい」と挨拶がありました。

次に、担当職員による事業地の概要説明の後、続いて、事業を実行した林業事業者から報告を受けました。



請負業者からの報告

報告では、①伐区が3箇所に分散していたので、ホルルの回し方や、集材作業を工夫した、②末木枝条はできるだけ集材し、バイオマス利用として販売した、③資材運搬に架線を利用し、人力で行うより作業工程が短縮できた、一方、①無地拵であったため、苗木袋等を持って移動する際、枝条に足を取られた、②大苗は重くて持ち運びに苦労した、③枝条が重なっている箇所では、植栽した苗の先が見えないので確認に手間がか

かったこと等が報告されました。続いて、植栽地に移動し、コンテナ大苗試験地の概要、L型シカネットについて担当職員が説明を行いました。参加者からは、「無地拵では、今後の保育が困難になりそうなので、多少の枝条整理は必要ではないか。」「シカネット設置作業の省略化が引き続きの課題である」等の意見が出されました。今後、無地拵地における苗木の選択や作業方法の工夫、背負袋など道具の改良などを検討していく必要があるといえます。



植付箇所での検討

最後に、当局の森林整備部長から、「1つ1つの作業をどう進めるのか、伐区の設定、搬出等厳しい現場が多い中、どのような工夫・連携がとれるか十分に検討する必要がある。新しい取組には必ずメリットとデメリットがついてくるので、トータルで見てプラスかマイナスか判断していく必要がある、様々な条件下や方法について試行・検証をしなければならぬ。嶺北署と安芸署を比較しながら各職場でも議論していただきたい」と講評がありました。

最後まで大雨の中の厳しい現地検討会でしたが、多くの御意見をいただくことができました。当署では引き続き、試験の継続、次の事業設定などに活かしていきたいと考えています。

〈安芸森林管理署〉

「滑床山開き」で

森林・木工教室を開催

4月26日、足摺宇和海国立公園の滑床渓谷で、松野町等が主催する恒例の滑床山開きの神事が行われました。

この山開きには、地元の松野南小

学校の全校児童6名が目黒緑の少年隊として出席しており、毎年、神事の後に森林教室や木工教室を行っています。

今年は、あいにく冷たい雨となったことから、滑床アウトドアセンターのご厚意により万年荘内で開催しました。



森林・木工教室の様子

はじめに、パネルを使って、森林の働きと大切さを説明し、次に、こどもの日に飾る置物作りと題して、スギ板・ヒノキ角材を利用したクラフト製作を行いました。

あらかじめ「金太郎とくまといのぼり」のパーツをセンターで準備

し、児童が、パーツをポスターカラーで着色し、ボンドで角材の台座へ張り付けるといったもので、学年で差が出ないよう工夫しました。



木エクラフト完成したよ

最後に、児童より「置物作りはとても楽しかったです。身近な森林をこれからも大切にしていきたいと思っています。」とお礼の挨拶がありました。

この様子は、宇和島ケーブルテレビが取材に来てくれました。今回の森林・木工教室を通じ、児童たちが、森林の大切さや素材としての木材の良さを身近に感じてもらえたらと思います。

〈四万十川森林ふれあい推進センター〉

飯野山国有林で「里山まつり」開催 一日一石運動も開始

4月22日、香川県中部、丸亀市と坂出市の平野部にまたがってそびえる飯野山（一合目以上が国有林）は、その美しい形から讃岐富士として広く親しまれ、年間4万7千人もの登山者を集めています。両市の観光協会では、飯野山の標高422mにあわせた4月22日を「讃岐富士の日」と定め、平成22年から毎年この日に「里山まつり」を開催しています。

本年も、登山口のある丸亀市野外活動センターで、午前9時からおよそ300人の登山者を前に「山開き式」が開催され、丸亀市長、坂出市長らとともに香川所長も列席しました。

参加者は、僧侶の法螺貝による安全祈願のあと登山を開始。讃岐富士をぐるっと一周するようにつけられた2.2kmの登山道（幅1.5m程度）は傾斜も緩やかなうえ、新緑や小鳥のさえずりの中、眼下に広がる美しい風景を楽しみながら、思い思いのペースで山頂を目指しました。



多くの愛好家たちが山頂を目指します

土曜日で好天に恵まれたこの日は終日賑わい、1,900人も人が山歩きを満喫しました。

讃岐富士は、健康づくり等のため毎日登る人も数多く、地元の方々から深く愛されています。一方で、きれいな円錐形であるため谷らしい谷がなく、大雨が降ると水は登山道を流れ下り、毎年のように登山道が荒れてしまいます。そこで、香川所と丸亀市が協議した結果、登山道入口に小石と土を用意して登山者のみなさんに運んでいただく「一日一石運動」を実施することにより、荒れた道を歩きやすいよう修繕していただ

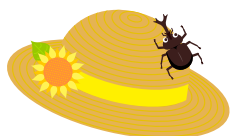
くこととしました。



「一日一石運動」で修繕された歩道

運動はまだ緒にいたばかりですが、愛する自分たちの山を自分たちで守るという使命感と充実感を胸に登山者からの評判も上々のようです。

〈香川森林管理事務所〉



転任者からの便り

「お世話になりました」

九州森林管理局業務管理官(次長)
(前四国森林管理局 森林整備部長)

田口 護



「掘る」その気持ちで四国の森林・林業・木材産業をリードするよう業務に当たって下さい。

四国局は、伸びしろも7局中1番です。言い換えれば成果を実感できるチャンスがたくさんあるということです。「向き、不向きより、前向き」こんな言葉を思い起こしています。

また、生活面では室戸岬、足摺岬、四万十川の沈下橋、しまなみ街道、小豆島など自転車で満喫させていただきました。特筆すべきは海の幸と地酒を楽しい仲間たちと堪能したことです。とても素晴らしい思い出があります。

九州局に赴任して2か月が過ぎました。九州局には九州から林業を改革するという気概を持って業務に取り組んでいる職員がたくさんいます。

私も、「ABC+D+E」をモットーに九州局の職員や皆様方に負けないよう持つ力を発揮する所存です。今後ともよろしくお願いたします。

「広い視野で深く掘る」ためには、他局

の状況を見ることも大切です。それぞれがテーマを持って九州局に出張して下さい。お待ちしております。

2年3か月間本当にありがとうございました。

※A：当たり前のことを B：馬鹿にしないで C：ちゃんとやる D：できるまでやる E：笑顔で



局署の職員の皆様のおかげをもちまして、充実した仕事ができたこと、四国の魅力をたくさん体験できたこと、とても感謝しています。

業務の面では、地形条件や気象条件が厳しい中でも各署が主体となって、地域も巻き込んだ現地検討会を実施したり、イベントではラジオ出演も体験できました。その中でも特に、若い職員と森林整備部長室で意見交換ができたことは私にとって大きな財産となりました。

四国局の現場力の高さは、ヒカイチです。その現場力を上手く活かすのが局の仕事だと思います。時々厳しく対応させていただいた時もありましたが、「広い視野で深



シリーズ

もり 四国の森林からこんにちは



安芸森林管理署安芸・入河内森林事務所

首席森林官 森下 嘉晴

鮮やかだった新緑も力強い万緑となり、谷川にも若鮎の跳ねる季節となりました。
安芸市の全域を管轄する安芸・入河内・大井の森林事務所を紹介します。
安芸市は高知県東部の中核的存在として発展してきました。球春を告げる阪神タイガースのキャンプ地として知られ、田園地帯の野良時計、土居廊中の武家屋敷、岩崎弥太郎邸、内原野公園など文化的遺産や、書道、童謡の里など多様な文化が発展しています。
この安芸市全域を管轄する私たちの



大井森林事務所



安芸・入河内森林事務所
前列左より2人目が筆者

この豊かな森林を食い荒らす二ホンジカの食害については、管内も深刻な状況となっており、職員一人ひとりが創意工夫を凝らし、捕獲業務に励んで



文化財資源備蓄林
(猿多し杉)

森林事務所は、標高1417mの久々場山国有林を最高峰とし、太平洋に面した伊尾木土場まで国有林約600ha、官行造林約260haを、安芸・入河内8名、大井2名で管理しています。
管内は国有林を源流とする安芸、伊尾木、名村の各河川沿いの急峻な山容に、スギ、ヒノキの豊富な人工林資源が広がり、間伐等の森林整備を中心に様々な施業を計画的に行っています。
また、高知県東部と紀伊半島の一部にしか生息しないトガサワラの保護林、寺社仏閣など文化的建築物の修繕等に活用する文化財資源備蓄林、伊尾木ダム周辺の風景林、西又山のブナ林等、多様な森林を形成し、平家落人伝説や民話も数多く残り、近代まで活躍した森林軌道の遺構なども相まって、古来より人々が山に依拠して暮らしを営んでいたことがうかがわれます。

毎日いろいろなことがあります、職場に楽しみなくして何のための人生ぞという思いがあります。
無事故・無災害を第一に、笑いあい、支え合いながら、事務所一同が力を合わせて現場最前線で地下足袋を履いて山を歩き、国民の森を守っていけるよう、微力ながら尽力して参りたいと考えています。



西の川山国有林
(ドローンで撮影)

います。昨年度からはくりワナを導入し、58頭の二ホンジカを捕獲するなど、森林の荒廃を防ぐ取り組みを行っています。また、管理面では森林踏査に加え、昨年度より導入されたドローンを活用した林況調査及び境界巡視などに着手しました。
今年度はこれらの業務をさらに効率よく推進するために、ドローンをはじめ先端機器の活用や、新たに大型囲いワナの設置等、積極的に業務を展開していきたいとも考えています。